

人間科学部文化社会学科専攻科目のカリキュラムマップ

養成する人材像		身近な現代文化に関する興味や関心を起点として、社会現象や社会問題を、幅広い視野で物事を多面的にとらえる社会学の技法を用いて分析し、自分の考えとして社会に向けて示すことができる人材を育成する。				
ディプロマ・ポリシー		<p>DP1 知識・理解 (1) 文化と社会に関する幅広い教養と専門知識を獲得し、現代における人と人との結びつきを明らかにできる。 (2) 身近な現代文化が自分たちにどのような影響を与えているのか、あるいは、社会のしくみとどのように関わっているのかを理解できる。</p> <p>DP2 汎用的技能 (1) 社会現象や社会問題に対する自らの関心を掘り下げて問題を設定し、社会学の概念を活用して、論理的に分析することができる。 (2) 自分の考え方を相手に伝わるように表現し、相手の考え方も受け止めることができる。 (3) フィールドワークや社会調査など社会学の技法を用いて社会現象や社会問題に関する情報を収集することができる。 (4) 統計的なデータ分析・プレゼンテーション・情報発信などを適切に行うことができる。</p> <p>DP3 態度・志向性 (1) 常に変化する現代社会において、さまざまな社会現象や社会問題に関心を向ける態度を身につけている。 (2) 統計的数値・図表・解釈方法などをのみにせず、根拠を重視して論理的に吟味する批判的思考の態度を身につけている。 (3) 自分を見失わず、他者の考えを理解しつつ、多面的な解釈を行う態度を身につけている。</p> <p>DP4 統合的な学習経験と創造的思考力 (1) 社会学の知識と社会生活の現場に関する多様な経験を総合し、常識にとらわれず、社会現象や社会問題に対する自分なりの考え方を論理的に構築することができる。 (2) 自分なりの考えを責任をもって他者に表現し、積極的に発信することができる。</p>				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	ディプロマ・ポリシーを達成するために ◎特に重要な項目 ○重要な項目 △望ましい項目			
			DP1 知識・理解 (基礎力)	DP2 汎用的技能 (思考力・実践力)	DP3 態度・志向性 (思考力・実践力)	DP4 統合的な学習 経験と創造的思考力 (実践力)
専攻科目	必修	文化社会学基礎演習Ⅰ	○	◎	◎	○
	文化社会学基礎演習Ⅱ	○	◎	◎	◎	
	社会調査演習	○		◎	◎	
	文化社会学情報演習	○	○	◎	◎	
	文化社会学概論	○	◎	○	◎	
	文化社会学演習Ⅰ	○	○	◎	◎	
	文化社会学演習Ⅱ	○	○	◎	◎	
	卒業研究Ⅰ	○	◎	◎	◎	
	卒業研究Ⅱ	○	◎	◎	◎	
	選択必修	総合科目・文化社会学Ⅰ		○	◎	○
	総合科目・文化社会学Ⅱ		○	◎	○	○
	現代社会論		◎	○	○	
	家族社会学		◎	○	○	
	はじめての社会調査		◎	○		△
	フィールドワーク演習			◎	○	○
	インターネット社会論		◎	○	○	
	ジェンダー論		◎	○	○	
	ファッション・ビューティー論		◎	○	○	
	ポピュラーカルチャー論		◎	○	○	
	音楽社会学		◎	○	○	
都市社会学		◎	○	○		
現代宗教論		◎	○	○		
ボランティアネットワーク論		◎	○	○	△	
観光社会学		◎	○	○		
ケアの社会学		◎	○	○		
社会学の歴史		◎	△	○		
フィクションの社会学		◎	○	○		
文化遺産の社会学		◎	○	○		
文化メディア論		◎	○	○		
エスノグラフィを読む		◎	△	○		
食文化論		◎	○	○		

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	ディプロマ・ポリシーを達成するために ◎特に重要な項目 ○重要な項目 △望ましい項目			
			DP1 知識・理解 (基礎力)	DP2 汎用的技能 (思考力・実践力)	DP3 態度・志向性 (思考力・実践力)	DP4 統合的な学習 経験と創造的思考力 (実践力)
専攻科目	選択必修	雑誌文化論	◎	○	○	
		コミュニケーション論	◎	○	○	
		理論社会学	◎	△	○	
		消費文化論	◎	○	○	
		スポーツ社会学	◎	○	○	
		文化社会論A	○	○	◎	○
		文化社会論B	○	○	◎	
		文化社会論C	○	○	◎	○
		文化社会論D	○	○	◎	
		社会問題の社会学	○	◎	○	